

女性学講座 — アジアの女性たち～ジェンダーで読む映像文化 —

定員	80名
時間	13:30～15:30
受講料	2,500円(全5回)
申込締切日	9/11
会場	城西大学清光会館 4階 401 視聴覚室

※各回ごとの申込みも可能です。
その場合は、1回700円の受講料となります。

後援：ひだか男女共生会議

今、アジアが輝きをもって、私たちに迫っています。そこで今年度は、アジアの映像文化に挑戦してみることになりました。映画といえば、これまではなんといっても欧米文化を優先して考えがちでしたが、最近ではアジアの映像文化も隆盛をきわめ、優秀な作品の傑出とともに、女性監督作品も相次いで各国に登場してきています。

講座回数はわずか5回ですので、今回は東アジア文化圏に絞って、中国・韓国・日本の映画やドラマについて、ジェンダーの視点から探究していこうと思います。ことに、映像のなかで、女性たちはどのように描かれているか、それぞれの国の女性像を明らかにしていく予定です。

韓国の映像に関しては、もはやブームも定着して日本の老若男女に深く浸透している韓流ドラマについて検討していきますので、ファンの方はもとより、多くの方々にご参集いただきたく存じます。どうぞ、ご期待ください。

講座内容

コーディネーター 長谷川 啓

	日程	テーマ	講師
第一回	9月18日(土)	韓国ドラマに見る女性像～『がんばれ! クムスン』	関谷 由美子 (文教大学講師)
第二回	10月30日(土)	中国映画に見る農村女性～『長江に生きる:兼愛の物語』	秋山 洋子 (駿河台大学教授)
第三回	11月20日(土)	韓流ドラマのなかの嫁と母～『ヨメ全盛時代』『母さんに角が生えた』	栗原 順子 (フリーライター)
第四回	11月27日(土)	日本の女性監督映画が描く女たち～ 『かもめ食堂』『赤い鯨と白い蛇』『ハリヨの夏』『さくらん』	長谷川 啓 (城西短期大学教授)
第五回	12月 4日(土)	検証・日韓併合100年:日本に暗殺された国母『明成皇后』	北村 敏子 (韓流メディア文化研究会代表)



お問い合わせ先



城西大学 生涯教育センター

〒350-0295 埼玉県坂戸市けやき台1-1 TEL.049-271-7795 FAX.049-271-7981 受付時間:9:00～17:00(11:30～12:30を除く)
E-mail: extension@stf.josai.ac.jp ホームページ: <https://ssl.smart-academy.net/josai/>